

## ○令和6年2月6日 少子化対策特別委員会の第2回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

少子化対策特別委員会では、今年度のテーマを「少子化対策の推進について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、乳児院「神愛館」(坂出市中央町)を訪問し、県下唯一の乳児院として、様々な理由により家庭で暮らすことができない子どもたちが家庭的な雰囲気の中で安心して健やかに生活できるよう行っている小規模グループケアの導入、保護者や里親への支援、家庭復帰の促進などの取組について説明を受け、質疑を行った後、施設内を視察しました。



次に、県坂出合同庁舎会議室において、生理の保健室☆協会 代表理事 吉川氏から、男女ともに生理や性について正しく具体的に自分事として知ること、お互いをいたわり、婦人科系疾患の未然防止や将来の妊娠までを考えて、協会が行う学校や地域での授業・講演・イベント等の活動や月経アドバイザー養成などの取組について説明を受け、質疑を行いました。



次に、医療法人社団 五色会(坂出市加茂町)を訪問し、不妊治療と仕事の両立のための指針策定や周知による法人全体での理解促進、休暇や短時間正社員制度の整備、また、院内保育施設の開設や昇進・昇格決定時に産休・育休等の回数等を要件に含まないなど、育児等をしている職員が安心して定年まで働ける職場環境づくりへの取組について説明を受け、質疑を行った後 施設内を視察しました。

